

令和3年度

諫早市下水道事業会計  
決算審査意見書

諫早市監査委員



4 諫 監 第 3 5 号  
令和 4 年 9 月 5 日

諫早市長 大久保 潔重 様

諫早市監査委員	谷 口	啓
諫早市監査委員	森 口	恭 子
諫早市監査委員	島 田	和 憲

令和 3 年度諫早市下水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された令和 3 年度諫早市下水道事業会計決算の審査を行ったので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

## 目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	事業の概要について	1
2	予算の執行状況について	2
	(1) 収益的収入及び支出	
	(2) 資本的収入及び支出	
	(3) その他の予算事項	
3	経営成績について	7
	(1) 営業収益及び営業費用	
	(2) 営業外収益及び営業外費用	
	(3) 特別利益及び特別損失	
	(4) 原価計算	
	(5) 剰余金計算	
	(6) 各下水道事業別の経営成績	
4	財政状態について	13
	(1) 資産の部	
	(2) 負債の部	
	(3) 資本の部	
5	資金収支の状況について	17
6	セグメント情報	18
7	むすび	19

### おことわり事項

- 1 本書中の各比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- 2 下記表現の説明は、次のとおりである。  
「0」・「0.0」 該当数値はあるが単位未満のもの  
「－」 該当数値がないもの  
「皆増」 前年度に数値がなく全額増加したもの  
「皆減」 当年度に数値がなく全額減少したもの
- 3 本書中に用いているポイントとは、パーセンテージ間の単純差引き数値である。

# 令和3年度諫早市下水道事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の概要

- 1 審査の対象  
令和3年度諫早市下水道事業会計決算
- 2 審査の期間  
令和4年7月1日から令和4年9月5日まで
- 3 審査の方法

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書について、地方公営企業法等関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、総勘定元帳その他の会計帳票及び関係証書類と照合するとともに、必要に応じ資料の提出を求め、また、関係職員から事情を聴取するなどにより審査した。

審査に当たっては、当事業が経済性を発揮し、公共の福祉を増進するために運営されたかを検討するため、事業の経営分析を行った。

## 第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

審査の結果の詳細は、次のとおりである。

### 1 事業の概要について

#### (1) 下水処理状況

当年度末における接続人口は 89,554 人で、前年度に比べ 1,525 人 (1.7%) 増加しており、接続戸数は 43,394 戸で、前年度に比べ 1,230 戸 (2.9%) 増加している。普及率は 77.8% で、前年度に比べ 1.0 ポイント上昇している。年間総処理水量は 14,384,906 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 758,557 m<sup>3</sup> (5.6%) 増加し、年間有収水量は 13,659,101 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 836,940 m<sup>3</sup> (6.5%) 増加している。有収率は 95.0% で、前年度に比べ 0.9 ポイント上昇している。

#### (2) 建設改良事業

当年度における建設改良事業の状況は、拡張工事では、公共下水道事業で大村湾処理区 18 件、336,514,900 円、諫早湾処理区 21 件、352,473,400 円、特定環境保全公共下水道事業で飯盛処理区 7 件、159,685,600 円、高来処理区 6 件、95,598,600 円、農業集落排水事業で大草地区 13 件、313,412,000 円である。

改良工事では、公共下水道事業で 4 件、160,204,500 円、特定環境保全公共下水道事業で 3 件、61,938,800 円、農業集落排水事業で 3 件、21,464,300 円である。

主な拡張工事は、久山地区污水管渠工事 (R 2 - 1 工区) 67,173,600 円、久山地区污水管渠工事 (R 2 - 2 工区) 64,694,300 円、半造川第 11 号污水幹線布

設工事（R2-4工区）56,873,400円である。主な改良工事は、令和3年度諫早市公共下水道諫早中央浄化センターの建設工事委託に関する協定149,700,000円である。主な保存工事は、本明・目代クリーンハウス曝気攪拌機分解整備工事8,052,000円である

なお、地元調整に不測の日数を要したこと等により、次年度へ繰越された事業は28件、繰越金額は938,036,296円である。

## 2 予算の執行状況について

当年度の予算の執行状況は、次のとおりである。

### (1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位：円)

区 分	令和3年度				令和2年度	対前年度		
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (B)-(A)	収入率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B)-(C)	比率 (%) (D)/(C)
営業収益	2,623,407,000	2,681,373,350	51.0	57,966,350	102.2	2,544,277,740	137,095,610	5.4
公共下水道事業収益	2,122,354,000	2,187,935,750	41.6	65,581,750	103.1	2,054,366,740	133,569,010	6.5
特定環境保全公共下水道事業収益	173,811,000	182,633,050	3.5	8,822,050	105.1	177,408,480	5,224,570	2.9
農業集落排水事業収益	229,755,000	226,327,560	4.3	△3,427,440	98.5	225,024,390	1,303,170	0.6
漁業集落排水事業収益	26,776,000	24,267,810	0.5	△2,508,190	90.6	24,302,790	△34,980	△0.1
公共下水道事業他会計補助金	54,946,000	45,849,000	0.9	△9,097,000	83.4	48,377,000	△2,528,000	△5.2
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	6,871,000	5,800,000	0.1	△1,071,000	84.4	5,726,000	74,000	1.3
農業集落排水事業他会計補助金	8,236,000	7,810,000	0.1	△426,000	94.8	7,827,000	△17,000	△0.2
漁業集落排水事業他会計補助金	645,000	555,000	0.0	△90,000	86.0	728,000	△173,000	△23.8
公共下水道事業その他営業収益	7,000	165,980	0.0	158,980	2,371.1	487,100	△321,120	△65.9
特定環境保全公共下水道その他営業収益	2,000	880	0.0	△1,120	44.0	1,920	△1,040	△54.2
農業集落排水事業その他営業収益	2,000	24,880	0.0	22,880	1,244.0	25,200	△320	△1.3
漁業集落排水事業その他営業収益	2,000	3,440	0.0	1,440	172.0	3,120	320	10.3
営業外収益	2,529,422,000	2,579,600,483	49.0	50,178,483	102.0	2,581,900,808	△2,300,325	△0.1
公共下水道事業受取利息及び配当金	307,000	263,654	0.0	△43,346	85.9	467,572	△203,918	△43.6
公共下水道事業他会計補助金	653,210,000	654,758,000	12.4	1,548,000	100.2	663,514,000	△8,756,000	△1.3
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	247,888,000	248,940,000	4.7	1,052,000	100.4	248,096,000	844,000	0.3
農業集落排水事業他会計補助金	390,881,000	391,647,000	7.4	766,000	100.2	398,912,000	△7,265,000	△1.8
漁業集落排水事業他会計補助金	13,357,000	13,451,000	0.3	94,000	100.7	10,637,000	2,814,000	26.5
公共下水道事業長期前受金戻入	662,868,000	690,062,063	13.1	27,194,063	104.1	677,299,770	12,762,293	1.9
特定環境保全公共下水道事業長期前受金戻入	252,993,000	256,301,643	4.9	3,308,643	101.3	251,074,843	5,226,800	2.1
農業集落排水事業長期前受金戻入	278,250,000	293,582,714	5.6	15,332,714	105.5	301,787,725	△8,205,011	△2.7
漁業集落排水事業長期前受金戻入	21,936,000	21,892,960	0.4	△43,040	99.8	21,737,365	155,595	0.7
雑収益	7,732,000	8,701,449	0.2	969,449	112.5	8,374,533	326,916	3.9
特別利益	8,000	65,440	0.0	57,440	818.0	493,710	△428,270	△86.7
固定資産売却益	4,000	—	—	△4,000	—	—	—	—
過年度損益修正益	4,000	65,440	0.0	61,440	1,636.0	493,710	△428,270	△86.7
その他特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	5,152,837,000	5,261,039,273	100.0	108,202,273	102.1	5,126,672,258	134,367,015	2.6

(税込み)

## (収益の支出)

(単位:円)

区 分	令和3年度					令和2年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成比 (%)	不用額 (A) - (B)	執行率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B) - (C)	比 率 (%) (D)/(C)
営業費用	4,308,262,000	3,866,426,994	87.6	441,835,006	89.7	3,871,830,804	△ 5,403,810	△ 0.1
公共下水道事業管渠費	60,162,050	45,551,604	1.0	14,610,446	75.7	49,598,072	△ 4,046,468	△ 8.2
特定環境保全公共下水道事業管渠費	51,309,846	37,210,039	0.8	14,099,807	72.5	31,202,623	6,007,416	19.3
農業集落排水事業管渠費	95,404,400	72,321,766	1.6	23,082,634	75.8	69,925,914	2,395,852	3.4
漁業集落排水事業管渠費	1,579,000	870,452	0.0	708,548	55.1	861,441	9,011	1.0
公共下水道事業ポンプ場費	32,139,725	27,924,355	0.6	4,215,370	86.9	27,141,410	782,945	2.9
公共下水道事業処理場費	981,990,375	881,866,927	20.0	100,123,448	89.8	853,982,804	27,884,123	3.3
特定環境保全公共下水道事業処理場費	159,463,415	122,652,332	2.8	36,811,083	76.9	117,854,257	4,798,075	4.1
農業集落排水事業処理場費	162,396,470	144,910,758	3.3	17,485,712	89.2	139,368,986	5,541,772	4.0
漁業集落排水事業処理場費	12,944,719	12,429,351	0.3	515,368	96.0	11,615,888	813,463	7.0
公共下水道事業総係費	124,990,000	100,854,075	2.3	24,135,925	80.7	103,188,591	△ 2,334,516	△ 2.3
特定環境保全公共下水道事業総係費	20,721,000	15,778,144	0.3	4,942,856	76.1	15,775,692	2,452	0.0
農業集落排水事業総係費	26,775,000	21,560,266	0.5	5,214,734	80.5	23,162,774	△ 1,602,508	△ 6.9
漁業集落排水事業総係費	2,032,000	1,649,130	0.0	382,870	81.2	1,850,481	△ 201,351	△ 10.9
公共下水道事業減価償却費	1,350,282,000	1,347,893,513	30.6	2,388,487	99.8	1,354,883,726	△ 6,990,213	△ 0.5
特定環境保全公共下水道事業減価償却費	468,711,000	465,441,229	10.6	3,269,771	99.3	462,531,813	2,909,416	0.6
農業集落排水事業減価償却費	520,843,000	519,848,573	11.8	994,427	99.8	518,926,783	921,790	0.2
漁業集落排水事業減価償却費	40,879,000	40,794,243	0.9	84,757	99.8	40,716,073	78,170	0.2
公共下水道事業資産減耗費	146,969,000	109,971	0.0	146,859,029	0.1	5,497,138	△ 5,387,167	△ 98.0
特定環境保全公共下水道事業資産減耗費	19,962,000	6,666,755	0.2	13,295,245	33.4	26,143	6,640,612	25401.1
農業集落排水事業資産減耗費	28,702,000	59,903	0.0	28,642,097	0.2	43,720,195	△ 43,660,292	△ 99.9
漁業集落排水事業資産減耗費	2,000	33,608	0.0	△ 31,608	—	—	33,608	皆増
その他営業費用	4,000	—	—	4,000	—	—	—	—
営業外費用	563,758,000	543,717,700	12.4	20,040,300	96.4	566,428,471	△ 22,710,771	△ 4.0
公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	276,017,200	274,732,744	6.2	1,284,456	99.5	301,882,803	△ 27,150,059	△ 9.0
特定環境保全公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	108,802,000	96,933,004	2.2	11,868,996	89.1	100,316,820	△ 3,383,816	△ 3.4
農業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	133,293,000	127,292,800	2.9	6,000,200	95.5	138,735,826	△ 11,443,026	△ 8.2
漁業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	6,307,000	5,943,722	0.2	363,278	94.2	6,010,542	△ 66,820	△ 1.1
消費税及び地方消費税	38,070,800	38,070,800	0.9	—	100.0	18,530,200	19,540,600	105.5
雑支出	1,268,000	744,630	0.0	523,370	58.7	952,280	△ 207,650	△ 21.8
特別損失	604,000	425,480	0.0	178,520	70.4	415,110	10,370	2.5
固定資産売却損	4,000	—	—	4,000	—	—	—	—
過年度損益修正損	600,000	425,480	0.0	174,520	70.9	415,110	10,370	2.5
予備費	10,000,000	—	—	10,000,000	—	—	—	—
合 計	4,882,624,000	4,410,570,174	100.0	472,053,826	90.3	4,438,674,385	△ 28,104,211	△ 0.6

(税込み)

収入合計は 5,261,039,273 円で、予算額 5,152,837,000 円に対し 108,202,273 円多く、収入率は 102.1 %である。

主な理由は、公共下水道事業収益が予算額を上回ったことによるものである。

支出合計は 4,410,570,174 円で、予算額 4,882,624,000 円に対して 472,053,826 円の不用額を生じており、執行率は 90.3%である。

不用額の主なものは、公共下水道事業処理場費 100,123,448 円、公共下水道事業資産減耗費 146,859,029 円である

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

(単位：円)

区 分	令和3年度						令和2年度	対前年度		
	予 算 額			決算額		増減額 (B)-(A)	収入率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B)-(C)	比率 (%) (D)/(C)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)					
企業債	1,858,700,000	401,600,000	2,260,300,000	840,200,000	37.5	△ 1,420,100,000	37.2	949,300,000	△ 109,100,000	△ 11.5
公共下水道事業企業債	1,254,300,000	331,100,000	1,585,400,000	548,900,000	24.5	△ 1,036,500,000	34.6	613,700,000	△ 64,800,000	△ 10.6
特定環境保全公共下水道事業企業債	378,000,000	69,300,000	447,300,000	140,300,000	6.3	△ 307,000,000	31.4	174,200,000	△ 33,900,000	△ 19.5
農業集落排水事業企業債	226,400,000	1,200,000	227,600,000	151,000,000	6.7	△ 76,600,000	66.3	161,400,000	△ 10,400,000	△ 6.4
漁業集落排水事業企業債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出資金	248,046,000	-	248,046,000	266,242,000	11.8	18,196,000	107.3	107,178,000	159,064,000	148.4
公共下水道事業出資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定環境保全公共下水道事業出資金	103,732,000	-	103,732,000	103,755,000	4.6	23,000	100.0	41,335,000	62,420,000	151.0
農業集落排水事業出資金	144,314,000	-	144,314,000	162,487,000	7.2	18,173,000	112.6	65,843,000	96,644,000	146.8
漁業集落排水事業出資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
補助金	1,189,127,000	261,053,090	1,450,180,090	1,037,127,550	46.3	△ 413,052,540	71.5	996,904,544	40,223,006	4.0
公共下水道事業補助金	779,210,000	194,093,490	973,303,490	645,344,015	28.8	△ 327,959,475	66.3	591,987,725	53,356,290	9.0
特定環境保全公共下水道事業補助金	152,300,000	66,959,600	219,259,600	152,623,535	6.8	△ 66,636,065	69.6	141,704,819	10,918,716	7.7
農業集落排水事業補助金	257,617,000	-	257,617,000	239,160,000	10.7	△ 18,457,000	92.8	263,212,000	△ 24,052,000	△ 9.1
漁業集落排水事業補助金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
負担金及び分担金	157,501,000	2,337,500	159,838,500	98,318,760	4.4	△ 61,519,740	61.5	174,036,392	△ 75,717,632	△ 43.5
公共下水道事業負担金	81,483,000	-	81,483,000	75,398,360	3.4	△ 6,084,640	92.5	85,186,842	△ 9,788,482	△ 11.5
特定環境保全公共下水道事業負担金	22,952,000	-	22,952,000	12,246,700	0.5	△ 10,705,300	53.4	23,638,650	△ 11,391,950	△ 48.2
農業集落排水事業負担金	49,988,000	2,337,500	52,325,500	8,164,500	0.4	△ 44,161,000	15.6	56,121,700	△ 47,957,200	△ 85.5
漁業集落排水事業負担金	3,078,000	-	3,078,000	2,509,200	0.1	△ 568,800	81.5	9,089,200	△ 6,580,000	△ 72.4
固定資産売却代金	4,000	-	4,000	-	-	△ 4,000	-	-	-	-
合 計	3,453,378,000	664,990,590	4,118,368,590	2,241,888,310	100.0	△ 1,876,480,280	54.4	2,227,418,936	14,469,374	0.6

(税込み)



## (資本の支出)

(単位：円)

区 分	令和3年度							令和2年度	対前年度		
	予 算 額			決算額		翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (%) (B)/(A)	決算額 (D)	増減額 (E) (B)-(D)	比率 (%) (E)/(D)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)						
建設改良費	3,050,475,000	695,354,712	3,745,829,712	1,988,271,579	47.9	938,036,296	819,521,837	53.1	2,125,371,874	△ 137,100,295	△ 6.5
公共下水道事業 拡張費	1,232,000,000	360,145,280	1,592,145,280	796,893,300	19.2	536,521,100	258,730,880	50.1	934,475,800	△ 137,582,500	△ 14.7
特定環境保全公 共下水道事業拡 張費	461,307,900	86,913,500	548,221,400	280,184,100	6.7	64,991,900	203,045,400	51.1	345,756,189	△ 65,572,089	△ 19.0
農業集落排水事 業拡張費	369,390,000	-	369,390,000	325,548,600	7.8	-	43,841,400	88.1	302,258,600	23,290,000	7.7
漁業集落排水事 業拡張費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公共下水道事業 改良費	420,000,000	91,685,600	511,685,600	256,837,500	6.2	231,567,000	23,281,100	50.2	188,287,350	68,550,150	36.4
特定環境保全公 共下水道事業改 良費	74,392,100	54,446,700	128,838,800	61,938,800	1.5	9,900,000	57,000,000	48.1	9,071,050	52,867,750	582.8
農業集落排水事 業改良費	77,890,000	3,696,000	81,586,000	21,464,300	0.5	20,789,400	39,332,300	26.3	98,930,700	△ 77,466,400	△ 78.3
公共下水道事業 受益者負担金徴 収費	12,681,228	-	12,681,228	10,141,599	0.3	-	2,539,629	80.0	10,410,577	△ 268,978	△ 2.6
特定環境保全公 共下水道事業受 益者負担金徴収 費	10,128,772	-	10,128,772	6,654,836	0.2	-	3,473,936	65.7	8,823,894	△ 2,169,058	△ 24.6
農業集落排水事 業受益者負担金 徴収費	256,000	-	256,000	195,110	0.0	-	60,890	76.2	5,782,755	△ 5,587,645	△ 96.6
漁業集落排水事 業受益者負担金 徴収費	300,000	-	300,000	244,610	0.0	-	55,390	81.5	411,354	△ 166,744	△ 40.5
公共下水道事業 有形固定資産購 入費	2,178,000	-	2,178,000	1,229,603	0.0	-	948,397	56.5	3,935,856	△ 2,706,253	△ 68.8
特定環境保全公 共下水道事業有 形固定資産購入 費	528,000	-	528,000	399,656	0.0	-	128,344	75.7	1,273,612	△ 873,956	△ 68.6
農業集落排水事 業有形固定資産 購入費	347,000	-	347,000	266,065	0.0	-	80,935	76.7	689,888	△ 423,823	△ 61.4
漁業集落排水事 業有形固定資産 購入費	27,000	-	27,000	2,235	0.0	-	24,765	8.3	3,444	△ 1,209	△ 35.1
公共下水道事業 無形固定資産購 入費	253,440,000	98,467,632	351,907,632	111,503,981	2.7	74,266,896	166,136,755	31.7	78,066,598	33,437,383	42.8
特定環境保全公 共下水道事業無 形固定資産購入 費	-	-	-	-	-	-	-	-	4,988,390	△ 4,988,390	皆減
農業集落排水事 業無形固定資産 購入費	-	-	-	-	-	-	-	-	10,893,740	△ 10,893,740	皆減
漁業集落排水事 業無形固定資産 購入費	-	-	-	-	-	-	-	-	739,640	△ 739,640	皆減
公共下水道事業 建設改良管理費	70,215,638	-	70,215,638	60,374,165	1.5	-	9,841,473	86.0	61,523,092	△ 1,148,927	△ 1.9
特定環境保全公 共下水道事業建 設改良管理費	28,890,362	-	28,890,362	21,900,503	0.5	-	6,989,859	75.8	24,932,853	△ 3,032,350	△ 12.2
農業集落排水事 業建設改良管理 費	36,503,000	-	36,503,000	32,492,616	0.8	-	4,010,384	89.0	34,116,492	△ 1,623,876	△ 4.8
漁業集落排水事 業建設改良管理 費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
企業債償還金	2,165,148,000	-	2,165,148,000	2,165,145,584	52.1	-	2,416	100.0	2,116,957,812	48,187,772	2.3
公共下水道事業 企業債償還金	1,272,476,000	-	1,272,476,000	1,272,475,338	30.6	-	662	100.0	1,255,295,421	17,179,917	1.4
特定環境保全公 共下水道事業企 業債償還金	299,017,000	-	299,017,000	299,016,272	7.2	-	728	100.0	287,673,171	11,343,101	3.9
農業集落排水事 業企業債償還金	578,206,000	-	578,206,000	578,205,421	13.9	-	579	100.0	566,820,929	11,384,492	2.0
漁業集落排水事 業企業債償還金	15,449,000	-	15,449,000	15,448,553	0.4	-	447	100.0	7,168,291	8,280,262	115.5
投資	2,019,000	-	2,019,000	252,278	0.0	-	1,766,722	12.5	456,176	△ 203,898	△ 44.7
基金費	2,019,000	-	2,019,000	252,278	0.0	-	1,766,722	12.5	456,176	△ 203,898	△ 44.7
合 計	5,217,642,000	695,354,712	5,912,996,712	4,153,669,441	100.0	938,036,296	821,290,975	70.2	4,242,785,862	△ 89,116,421	△ 2.1

(税込み)

収入合計は 2,241,888,310 円で、予算額 4,118,368,590 円に対して 1,876,480,280 円少なく、収入率は 54.4 %である。

支出合計は 4,153,669,441 円、翌年度繰越額は 938,036,296 円で、予算額 5,912,996,712 円に対し 821,290,975 円の不用額を生じ、執行率は 70.2 %である。

不用額の主なものは、公共下水道事業拡張費 258,730,880 円、特定環境保全公共下水道事業拡張費 203,045,400 円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,911,781,131 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 79,738,169 円、減債積立金 713,032,417 円、及び当年度分損益勘定留保資金 1,119,010,545 円で補てんされている。

### (3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第 17 条に規定する予算に係る事項の執行状況は、次のとおりである。

#### ① 債務負担行為

債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、予算に定めるとおり執行されている。

#### ② 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算に定めるとおり執行されている。

#### ③ 一時借入金

当年度の一時借入金限度額は、500,000,000 円であったが、執行はなかった。

#### ④ 予定支出の各項の経費の金額の流用

営業費用と営業外費用との間及び建設改良費と投資との間において、流用はなかった。

#### ⑤ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

職員給与費 250,752,000 円であり、流用はなく、予算の範囲内で執行されている。

#### ⑥ 他会計からの補助金

一般会計からの補助金は 1,633,730,000 円（収益的収入 1,368,810,000 円、資本的収入 264,920,000 円）である。

#### ⑦ たな卸資産購入限度額

当年度のたな卸資産購入限度額は、1,500,000 円であったが、執行はなかった。

### 3 経営成績について

当年度の経営成績を前年度と対比すると、次の損益計算書のとおりである。

営業収益は2,443,085,705円で、前年度に比べ124,362,722円増加し、営業費用は3,743,944,262円で、前年度に比べ9,820,416円減少している。この結果、営業損失は1,300,858,557円で、前年度に比べ134,183,138円減少している。

営業外収益は2,579,903,674円で、前年度に比べ2,162,259円減少し、営業外費用は507,984,886円で、前年度に比べ42,474,546円減少している。これにより、経常利益は771,060,231円、当年度純利益は770,730,930円である。

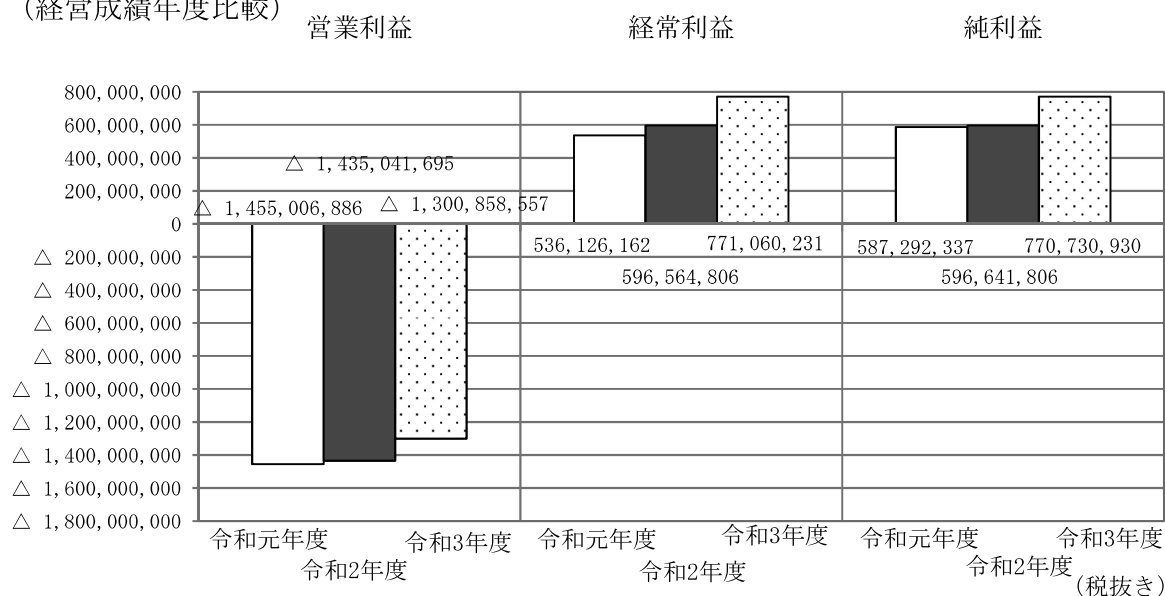
(損益計算書)

(単位：円)

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減		
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)			
<b>営業収益</b>		2,443,085,705	100.0		2,318,722,983	100.0	124,362,722
事業収益	2,382,876,525		97.5	2,255,547,643		97.3	127,328,882
他会計補助金	60,014,000		2.5	62,658,000		2.7	△ 2,644,000
その他営業収益	195,180		0.0	517,340		0.0	△ 322,160
<b>営業費用</b>		3,743,944,262	100.0		3,753,764,678	100.0	△ 9,820,416
管渠費	142,470,942		3.8	138,526,158		3.7	3,944,784
ポンプ場費	25,487,959		0.7	24,778,183		0.7	709,776
処理場費	1,060,366,951		28.3	1,024,958,954		27.3	35,407,997
総係費	134,770,615		3.6	139,199,512		3.7	△ 4,428,897
減価償却費	2,373,977,558		63.4	2,377,058,395		63.3	△ 3,080,837
資産減耗費	6,870,237		0.2	49,243,476		1.3	△ 42,373,239
<b>営業損失</b>		1,300,858,557			1,435,041,695		△ 134,183,138
<b>営業外収益</b>		2,579,903,674	100.0		2,582,065,933	100.0	△ 2,162,259
受取利息及び配当金	263,654		0.0	467,572		0.0	△ 203,918
他会計補助金	1,308,796,000		50.7	1,321,159,000		51.2	△ 12,363,000
長期前受金戻入	1,261,839,380		48.9	1,251,899,703		48.5	9,939,677
雑収益	9,004,640		0.4	8,539,658		0.3	464,982
<b>営業外費用</b>		507,984,886	100.0		550,459,432	100.0	△ 42,474,546
支払利息及び企業債取扱諸費	504,902,270		99.4	546,945,991		99.4	△ 42,043,721
雑支出	3,082,616		0.6	3,513,441		0.6	△ 430,825
<b>経常利益</b>		771,060,231			596,564,806		174,495,425
<b>特別利益</b>		59,494	100.0		454,751	100.0	△ 395,257
過年度損益修正益	59,494		100.0	454,751		100.0	△ 395,257
その他特別利益	—		—	—		—	—
<b>特別損失</b>		388,795	100.0		377,751	100.0	11,044
過年度損益修正損	388,795		100.0	377,751		100.0	11,044
<b>当年度純利益</b>		770,730,930			596,641,806		174,089,124
前年度繰越利益剰余金		—			—		
当年度未処分利益剰余金		770,730,930			596,641,806		174,089,124

(税抜き)

## (経営成績年度比較)



なお、経営成績及び主要な利益指標の推移をみると、次表のとおりである。

## (経営成績及び主要な利益指標年度比較)

(単位：円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
下水道事業収益	4,846,128,614	4,901,243,667	5,023,048,873
うち営業収益	2,204,318,948	2,318,722,983	2,443,085,705
下水道事業費	4,258,836,277	4,304,601,861	4,252,317,943
うち営業費用	3,659,325,834	3,753,764,678	3,743,944,262
当年度純利益	587,292,337	596,641,806	770,730,930
前年度繰越利益剰余金	—	—	—
当年度未処分利益剰余金	587,292,337	596,641,806	770,730,930
総収支比率 (%)	113.8	113.9	118.1
営業収支比率 (%)	60.2	61.8	65.3
総資本利益率 (%)	0.7	0.8	1.0

(税抜き)

(注) 総資本利益率 = (経常利益 / ((期首負債資本 + 期末負債資本) × 1/2)) × 100

総資本利益率は、投下資本に対してどれだけの純利益を上げたかという資本効率を示すものである。率が高いほど総合的な収益性が高いと言える。

## (1) 営業収益及び営業費用

営業収益は 2,443,085,705 円で、前年度に比べ 124,362,722 円 (5.4%) 増加している。主な理由は、事業収益の増加である。営業収益の構成を見ると、97.5%が事業収益で、2.5%が他会計補助金である。

営業費用は 3,743,944,262 円で、前年度に比べ 9,820,416 円 (△0.3%) 減少している。主な理由は、資産減耗費の減少である。営業費用の構成を見ると、減価償却費が 63.4%、処理場費が 28.3%となっている。なお、営業費用の構成は次表のとおりである。

(営業費用構成年度比較)

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
管 渠 費	142,470,942	3.8	138,526,158	3.7	3,944,784
ポ ン プ 場 費	25,487,959	0.7	24,778,183	0.7	709,776
処 理 場 費	1,060,366,951	28.3	1,024,958,954	27.3	35,407,997
総 係 費	134,770,615	3.6	139,199,512	3.7	△ 4,428,897
減 価 償 却 費	2,373,977,558	63.4	2,377,058,395	63.3	△ 3,080,837
資 産 減 耗 費	6,870,237	0.2	49,243,476	1.3	△ 42,373,239
合 計	3,743,944,262	100.0	3,753,764,678	100.0	△ 9,820,416

(税抜き)

次に、営業費用を性質別にみると、次表のとおりである。

(営業費用性質別年度比較)

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
給 与 費 等	84,560,100	2.3	95,185,892	2.6	△ 10,625,792
委 託 料	369,109,447	9.9	370,363,652	9.9	△ 1,254,205
修 繕 費 等	109,075,084	2.9	112,176,420	3.0	△ 3,101,336
動 力 費 等	185,467,533	4.9	178,288,161	4.7	7,179,372
負 担 金	562,463,232	15.0	530,603,219	14.1	31,860,013
減 価 償 却 費 等	2,380,847,795	63.6	2,426,301,871	64.6	△ 45,454,076
そ の 他	52,421,071	1.4	40,845,463	1.1	11,575,608
合 計	3,743,944,262	100.0	3,753,764,678	100.0	△ 9,820,416

(税抜き)

- (注) 1. 給与費等には、給料のほか手当、賞与引当金繰入額、報酬、法定福利費及び退職給付費を含む。  
 2. 動力費等には、動力費のほか光熱水費及び通信運搬費、薬品費を含む。  
 3. 減価償却費等には、減価償却費のほか資産減耗費を含む。

## (2) 営業外収益及び営業外費用

営業外収益は 2,579,903,674 円で、前年度に比べ 2,162,259 円 (△0.1%) 減少している。主な理由は、他会計補助金の減少である。

営業外費用は 507,984,886 円で、前年度に比べ 42,474,546 円 (△7.7%) 減少している。主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費の減少である。

## (3) 特別利益及び特別損失

特別利益は 59,494 円で、前年度に比べ 395,257 円 (△86.9%) 減少している。主な理由は、過年度損益修正益の減少である。

特別損失は 388,795 円で、前年度に比べ 11,044 円 (2.9%) 増加している。この理由は、過年度損益修正損の増加である。

(4) 原価計算

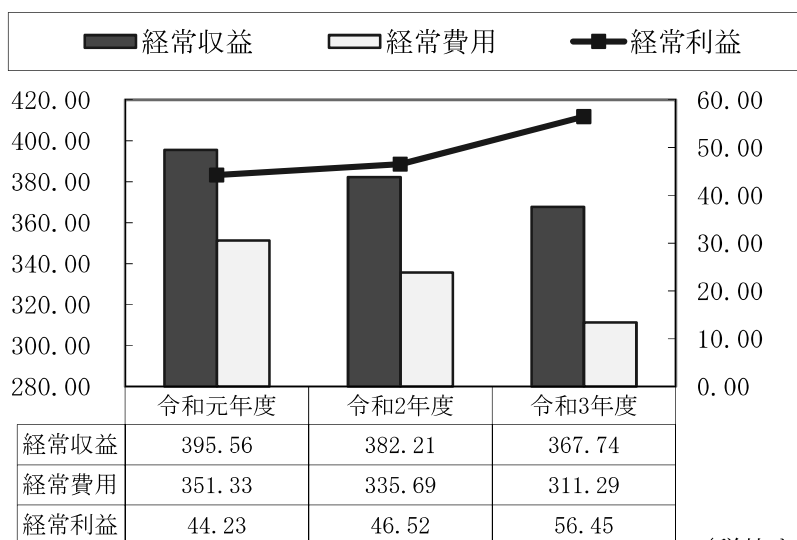
有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの収益及び費用は、次表のとおりである。

単位当たりの経常収益は、前年度に比べ 14.47 円減少し、経常費用は 24.4 円減少している。この結果、経常利益は 9.93 円増加している。

使用料単価は、前年度に比べ 1.46 円減少し、汚水処理原価は 9.30 円減少している。この結果、使用料単価から汚水処理原価の差引は 7.84 円増加している。

(単位当たり経常利益年度比較)

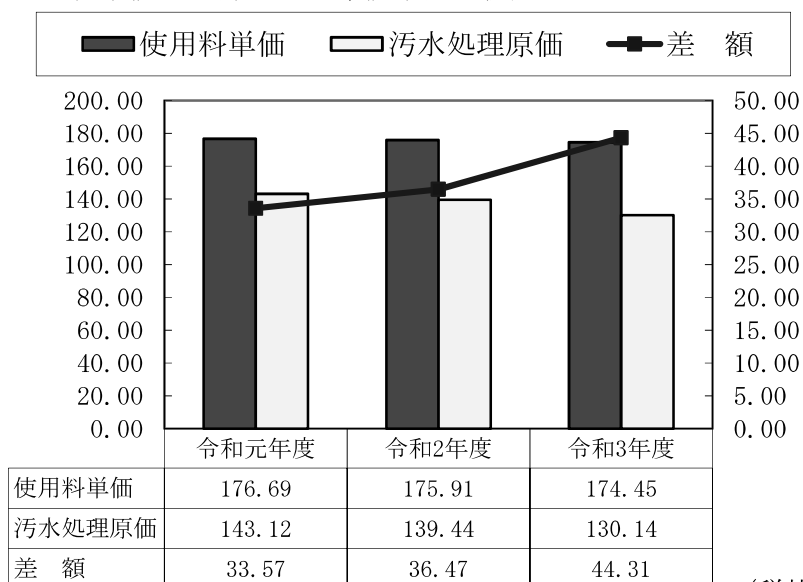
(単位：円/m<sup>3</sup>)



(税抜き)

(単位当たり使用料単価及び汚水処理原価年度比較)

(単位：円/m<sup>3</sup>)



(税抜き)

(注)汚水処理原価(使用料対象原価) = 経常費用 - (不用品売却原価 + 基準内繰入金(収益的収入分)) - 長期前受金戻入(元金償還に係る一般会計補助金収益化額を除く) / 年間総有収水量

(5) 剰余金計算

剰余金の当年度中の増減状況は、次頁のとおりである。

当年度未処分利益剰余金 770,730,930 円は、全額、減債積立金に積み立てる予定としている。

## (剰余金計算書)

(単位：円)

	資本金		剰余金						資本合計
			資本剰余金			利益剰余金			
	受贈財産評価額	補助金	受益者負担金及び分担金	資本剰余金合計	減債積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計		
前年度末残高	8,027,191,112	568,812,476	922,499	600,896,465	755,241,268	596,641,806	1,351,883,074	9,979,970,651	
前年度剰余金の処分額	—	—	—	—	596,641,806	△ 596,641,806	—	—	
練早市上下水道事業の設置等に関する条例第6条第1項による処分額	—	—	—	—	596,641,806	△ 596,641,806	—	—	
減債積立金の積立	—	—	—	—	596,641,806	△ 596,641,806	—	—	
処分後残高	8,027,191,112	568,812,476	922,499	600,896,465	1,351,883,074	(繰越利益剰余金) —	1,351,883,074	9,979,970,651	
当年度変動額	979,274,417	—	—	—	△ 713,032,417	770,730,930	57,698,513	1,036,972,930	
出資金の受入	266,242,000	—	—	—	—	—	—	266,242,000	
資本金への組入	713,032,417	—	—	—	△ 713,032,417	—	△ 713,032,417	—	
当年度純利益	—	—	—	—	—	770,730,930	770,730,930	770,730,930	
当年度末残高	9,006,465,529	568,812,476	922,499	600,896,465	638,850,657	770,730,930	1,409,581,587	11,016,943,581	

(税抜き)

## (6) 各下水道事業別の経営成績

各下水道事業の経営成績は、次表のとおりである。

事業別に当年度の純利益（純損失）を見ると、公共下水道事業は純利益 794,957,088 円、特定環境保全公共下水道事業は純損失 53,536,000 円、農業集落排水事業は純利益 31,858,510 円、漁業集落排水事業は純損失 2,548,668 円である。

## (事業別経営成績)

(単位：円)

科 目	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農 業 集 落 排 水 事 業	漁 業 集 落 排 水 事 業	合 計
<b>営業収益</b>	2,035,047,482	171,830,928	213,587,206	22,620,089	2,443,085,705
事業収益	1,989,032,502	166,030,048	205,752,326	22,061,649	2,382,876,525
他会計補助金	45,849,000	5,800,000	7,810,000	555,000	60,014,000
その他営業収益	165,980	880	24,880	3,440	195,180
<b>営業費用</b>	2,316,636,501	633,472,139	739,283,588	54,552,034	3,743,944,262
管渠費	41,589,514	33,999,355	66,086,524	795,549	142,470,942
ポンプ場費	25,487,959	—	—	—	25,487,959
処理場費	804,383,774	112,097,118	132,547,146	11,338,913	1,060,366,951
総係費	97,171,770	15,267,682	20,741,442	1,589,721	134,770,615
減価償却費	1,347,893,513	465,441,229	519,848,573	40,794,243	2,373,977,558
資産減耗費	109,971	6,666,755	59,903	33,608	6,870,237
<b>営業利益（損失）</b>	<b>△ 281,589,019</b>	<b>△ 461,641,211</b>	<b>△ 525,696,382</b>	<b>△ 31,931,945</b>	<b>△ 1,300,858,557</b>
<b>営業外収益</b>	1,353,970,484	505,323,911	685,260,968	35,348,311	2,579,903,674
受取利息及び配当金	263,654	—	—	—	263,654
他会計補助金	654,758,000	248,940,000	391,647,000	13,451,000	1,308,796,000
長期前受金戻入	690,062,063	256,301,643	293,582,714	21,892,960	1,261,839,380
雑収益	8,886,767	82,268	31,254	4,351	9,004,640
<b>営業外費用</b>	277,096,276	97,242,828	127,680,748	5,965,034	507,984,886
支払利息及び企業債取扱諸費	274,732,744	96,933,004	127,292,800	5,943,722	504,902,270
雑支出	2,363,532	309,824	387,948	21,312	3,082,616
<b>経常利益（損失）</b>	<b>795,285,189</b>	<b>△ 53,560,128</b>	<b>31,883,838</b>	<b>△ 2,548,668</b>	<b>771,060,231</b>
<b>特別利益</b>	30,520	28,974	—	—	59,494
過年度損益修正益	30,520	28,974	—	—	59,494
その他特別利益	—	—	—	—	—
<b>特別損失</b>	358,621	4,846	25,328	—	388,795
過年度損益修正損	358,621	4,846	25,328	—	388,795
<b>当年度純利益（純損失）</b>	<b>794,957,088</b>	<b>△ 53,536,000</b>	<b>31,858,510</b>	<b>△ 2,548,668</b>	<b>770,730,930</b>
前年度繰越利益剰余金	—	—	—	—	—
当年度未処分利益剰余金（未処理欠損金）	794,957,088	△ 53,536,000	31,858,510	△ 2,548,668	770,730,930

(税抜き)



#### 4 財政状態について

当年度末の財政状態を前年度と対比すると、次頁の貸借対照表のとおりである。

資産の部では、固定資産が 72,878,866,723 円で、前年度に比べ 541,937,458 円(△0.7%) 減少している。資産合計は 74,921,242,838 円で、前年度に比べ 517,866,035 円 (△0.7%) 減少している。

負債及び資本の部では、負債合計が 63,904,299,257 円で、前年度に比べ 1,554,838,965 円 (△2.4%) 減少し、資本合計は 11,016,943,581 円で、前年度に比べ 1,036,972,930 円 (10.4%) 増加している。

各区分の財政状態の詳細は次のとおりである。

##### (1) 資産の部

有形固定資産は 69,815,553,053 円で、前年度に比べ 551,585,008 円減少している。主な理由は、構築物並びに機械及び装置の減価償却による減である。

無形固定資産は 2,558,504,427 円で、前年度に比べ 9,395,272 円増加している。主な理由は、施設利用権の増加である。

また、流動資産は 2,042,376,115 円で、前年度に比べ 24,071,423 円増加している。主な理由は、未収金の増加である。

##### (2) 負債の部

固定負債は 27,419,930,834 円で、前年度に比べ 1,326,959,008 円減少している。

主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債の減少である。

また、流動負債は 2,682,878,398 円で、前年度に比べ 31,613,666 円減少している。主な理由は、その他流動負債の減少である。

##### (3) 資本の部

資本金は 9,006,465,529 円で、前年度に比べ 979,274,417 円増加している。

剰余金は 2,010,478,052 円で、前年度に比べ 57,698,513 円増加している。

企業債の未償還残高は、前年度に比べ 1,324,945,584 円減少している。

前年度末残高	30,794,960,288 円
当年度発行額	840,200,000 円
当年度償還額	2,165,145,584 円
当年度末残高	29,470,014,704 円

## (貸借対照表)

(単位：円)

科 目	令和3年度			令和2年度			比較増減
	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)		
(資産の部)							
固定資産							
有形固定資産							
土地		1,253,170,396	1.7		1,253,170,396	1.7	—
建物	2,894,783,142			2,894,556,425			
減価償却累計額	△ 826,918,437	2,067,864,705	2.8	△ 758,488,450	2,136,067,975	2.8	△ 68,203,270
構築物	79,494,574,219			78,036,289,498			
減価償却累計額	△ 17,502,247,495	61,992,326,724	82.7	△ 15,764,696,835	62,271,592,663	82.5	△ 279,265,939
機械及び装置	10,539,396,439			10,446,138,259			
減価償却累計額	△ 6,724,346,450	3,815,049,989	5.1	△ 6,297,183,624	4,148,954,635	5.5	△ 333,904,646
車両運搬具	6,646,027			6,646,027			
減価償却累計額	△ 4,056,522	2,589,505	0.0	△ 3,430,352	3,215,675	0.0	△ 626,170
工具器具及び備品	24,677,897			26,210,947			
減価償却累計額	△ 15,118,227	9,559,670	0.0	△ 16,257,968	9,952,979	0.0	△ 393,309
建設仮勘定		674,992,064	0.9		544,183,738	0.7	130,808,326
有形固定資産合計		69,815,553,053	93.2		70,367,138,061	93.2	△ 551,585,008
無形固定資産							
施設利用権		2,529,780,217	3.4		2,512,170,208	3.3	17,610,009
ソフトウェア		28,724,210	0.0		36,938,947	0.1	△ 8,214,737
無形固定資産合計		2,558,504,427	3.4		2,549,109,155	3.4	9,395,272
投資その他資産							
基金		504,809,243	0.7		504,556,965	0.7	252,278
投資その他の資産合計		504,809,243	0.7		504,556,965	0.7	252,278
固定資産合計		72,878,866,723	97.3		73,420,804,181	97.3	△ 541,937,458
流動資産							
現金・預金		1,190,415,281	1.6		1,329,715,747	1.8	△ 139,300,466
未収金		866,388,034	1.1		697,377,245	0.9	169,010,789
貸倒引当金		△ 15,300,000	△ 0.0		△ 9,900,000	△ 0.0	△ 5,400,000
貯蔵品		872,800	0.0		1,111,700	0.0	△ 238,900
前払金		—	—		—	—	—
流動資産合計		2,042,376,115	2.7		2,018,304,692	2.7	24,071,423
資産合計		74,921,242,838	100.0		75,439,108,873	100.0	△ 517,866,035

(税抜き)

## (貸借対照表)

(単位：円)

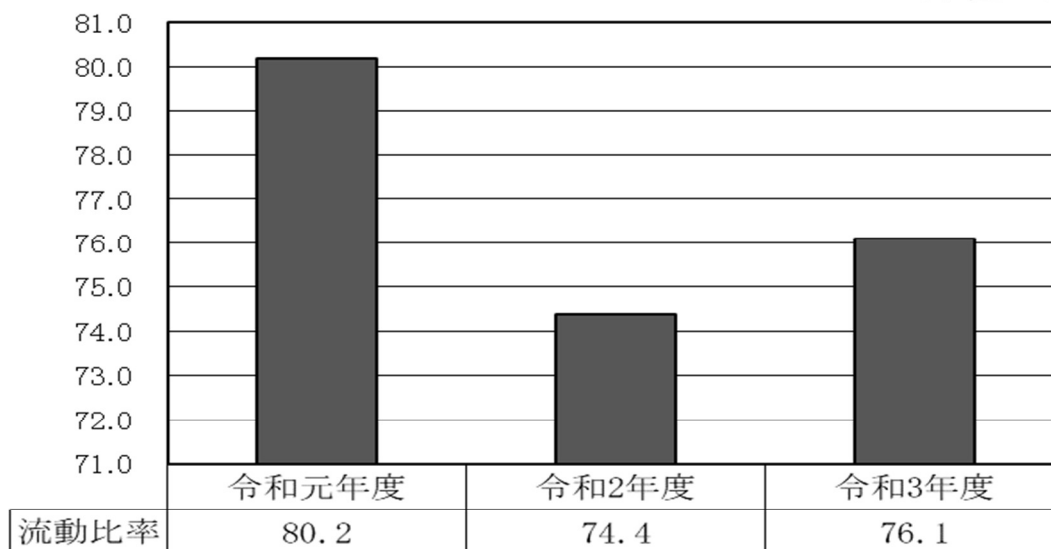
科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	
<b>(負債の部)</b>					
固定負債					
企業債					
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	27,300,584,608	36.5	28,629,814,704	38.0	△ 1,329,230,096
引当金					
退職給付引当金	119,346,226	0.2	117,075,138	0.1	2,271,088
<b>固定負債合計</b>	<b>27,419,930,834</b>	<b>36.7</b>	<b>28,746,889,842</b>	<b>38.1</b>	<b>△ 1,326,959,008</b>
流動負債					
企業債					
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,169,430,096	2.9	2,165,145,584	2.9	4,284,512
未払金	471,198,658	0.6	474,477,741	0.6	△ 3,279,083
前受金	22,356	0.0	3,624	0.0	18,732
引当金					
賞与引当金	18,072,000	0.0	19,175,000	0.0	△ 1,103,000
その他流動負債	24,155,288	0.0	55,690,115	0.1	△ 31,534,827
<b>流動負債合計</b>	<b>2,682,878,398</b>	<b>3.5</b>	<b>2,714,492,064</b>	<b>3.6</b>	<b>△ 31,613,666</b>
繰延収益					
長期前受金	47,262,786,529	63.1	46,231,829,032	61.3	1,030,957,497
収益化累計額	△ 13,461,296,504	△ 18.0	△ 12,234,072,716	△ 16.2	△ 1,227,223,788
<b>繰延収益合計</b>	<b>33,801,490,025</b>	<b>45.1</b>	<b>33,997,756,316</b>	<b>45.1</b>	<b>△ 196,266,291</b>
<b>負債合計</b>	<b>63,904,299,257</b>	<b>85.3</b>	<b>65,459,138,222</b>	<b>86.8</b>	<b>△ 1,554,838,965</b>
<b>(資本の部)</b>					
資本金	9,006,465,529	12.0	8,027,191,112	10.6	979,274,417
剰余金					
資本剰余金					
受贈財産評価額	31,161,490	0.0	31,161,490	0.0	—
補助金	568,812,476	0.8	568,812,476	0.8	—
受益者負担金及び分 担金	922,499	0.0	922,499	0.0	—
<b>資本剰余金合計</b>	<b>600,896,465</b>	<b>0.8</b>	<b>600,896,465</b>	<b>0.8</b>	<b>—</b>
利益剰余金					
減債積立金	638,850,657	0.9	755,241,268	1.0	△ 116,390,611
当年度未処分利益剰 余金	770,730,930	1.0	596,641,806	0.8	174,089,124
<b>利益剰余金合計</b>	<b>1,409,581,587</b>	<b>1.9</b>	<b>1,351,883,074</b>	<b>1.8</b>	<b>57,698,513</b>
<b>剰余金合計</b>	<b>2,010,478,052</b>	<b>2.7</b>	<b>1,952,779,539</b>	<b>2.6</b>	<b>57,698,513</b>
<b>資本合計</b>	<b>11,016,943,581</b>	<b>14.7</b>	<b>9,979,970,651</b>	<b>13.2</b>	<b>1,036,972,930</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>74,921,242,838</b>	<b>100.0</b>	<b>75,439,108,873</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 517,866,035</b>

(税抜き)

ここで、主な財務比率の推移は次のとおりである。

(流動比率)

(単位：%)

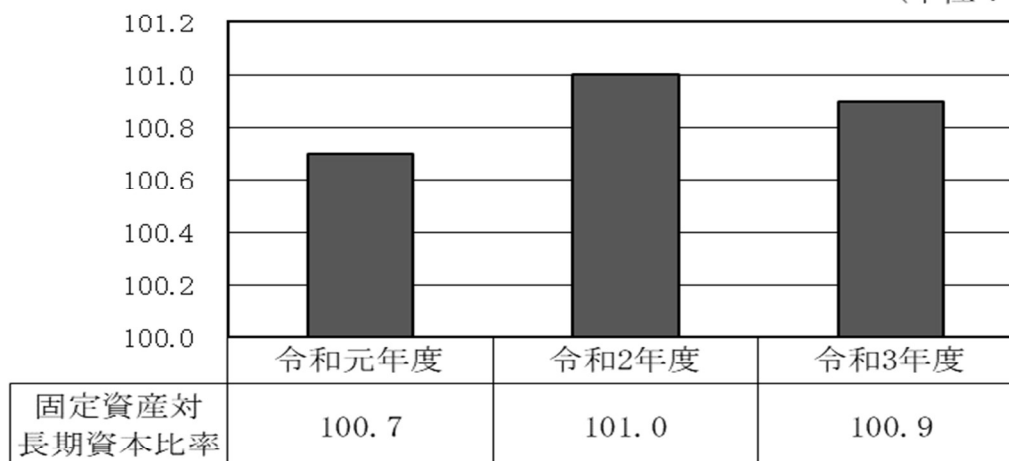


※ 流動比率 = (流動資産 / 流動負債) × 100

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は100%以上であることが望ましい。

(固定資産対長期資本比率)

(単位：%)



※ 固定資産対長期資本比率 = (固定資産 / (資本金 + 剰余金 + 固定負債 + 繰延収益)) × 100

固定資産対長期資本比率は、固定資産がどの程度長期資本（自己資本（資本金 + 剰余金 + 繰延収益）及び長期借入金（固定負債））によって調達されているかを示すものである。この比率は100%以下で、かつ低いことが望ましい。

## 5 資金収支の状況について

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。

キャッシュ・フロー計算書の推移は次表のとおりである。

(キャッシュ・フロー計算書)

(単位：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	770,730,930	596,641,806	174,089,124
減価償却費	2,373,977,558	2,377,058,395	△ 3,080,837
固定資産除却費	6,870,237	49,243,476	△ 42,373,239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,400,000	2,400,000	3,000,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,271,088	14,701,058	△ 12,429,970
賞与引当金の増減額(△は減少)	432,000	△ 507,000	939,000
長期前受金戻入額	△ 1,261,839,380	△ 1,251,899,703	△ 9,939,677
受取利息及び受取配当金	△ 263,654	△ 467,572	203,918
支払利息	504,902,270	546,945,991	△ 42,043,721
未収金の増減額(△は増加)	△ 20,919,387	26,527,478	△ 47,446,865
未払金の増減額(△は減少)	△ 14,864,540	120,243,231	△ 135,107,771
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,130	△ 1,159,830	1,161,960
前払金の増減額(△は増加)	-	131,647,000	△ 131,647,000
前受金の増減額(△は減少)	18,732	-	18,732
預り金の増減額(△は減少)	△ 31,534,827	35,644,187	△ 67,179,014
小 計	2,335,183,157	2,647,018,517	△ 311,835,360
利息及び配当金の受取額	263,654	467,572	△ 203,918
利息の支払額	△ 504,902,270	△ 546,945,991	42,043,721
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,830,544,541	2,100,540,098	△ 269,995,557
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,711,266,831	△ 1,928,064,161	216,797,330
無形固定資産の取得による支出	△ 101,367,256	△ 86,080,335	△ 15,286,921
基金積立てによる収入	△ 252,278	△ 456,176	203,898
国庫補助金等による収入	803,800,942	831,646,856	△ 27,845,914
一般会計からの補助金による収入	257,008,000	265,157,000	△ 8,149,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 752,077,423	△ 917,796,816	165,719,393
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	840,200,000	949,300,000	△ 109,100,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,165,145,584	△ 2,116,957,812	△ 48,187,772
他会計からの出資による収入	107,178,000	50,829,000	56,349,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,217,767,584	△ 1,116,828,812	△ 100,938,772
資金増加額(又は減少額)	△ 139,300,466	65,914,470	△ 205,214,936
資金期首残高	1,329,715,747	1,263,801,277	65,914,470
資金期末残高	1,190,415,281	1,329,715,747	△ 139,300,466

(税抜き)

業務活動によるキャッシュ・フローは、1,830,544,541円で、前年度に比べ269,995,557円減少している。主な理由は前払金の減少によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△752,077,423円で、前年度に比べ165,719,393円増加している。主な理由は、有形固定資産の取得による支出の減少によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△1,217,767,584円で、前年度に比べ100,938,772円減少している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入の減少によるものである。

以上の3区分から当年度の資金は、139,300,466円の減少となり、資金期末残高は1,190,415,281円となる。

キャッシュ・フローを見ると、業務活動で十分なキャッシュを生み出し、投資と借入金の返済もできており一般的にいう優良企業型である。

## 6 セグメント情報

### (1) 報告セグメントの概要

諫早市下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業を運営しており、各事業で地理的条件や地域性の違いから収益状況等が異なることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は、次表のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地における、し尿、生活排水等の処理
特定環境保全公共下水道事業	市街地以外における、し尿、生活排水等の処理
農業集落排水事業	農業集落における、し尿、生活排水等の処理
漁業集落排水事業	漁業集落における、し尿、生活排水等の処理

### (2) 報告セグメントごとの経常損益

当年度の報告セグメントのうち、経常損益は、次表のとおりである。

(単位：円)

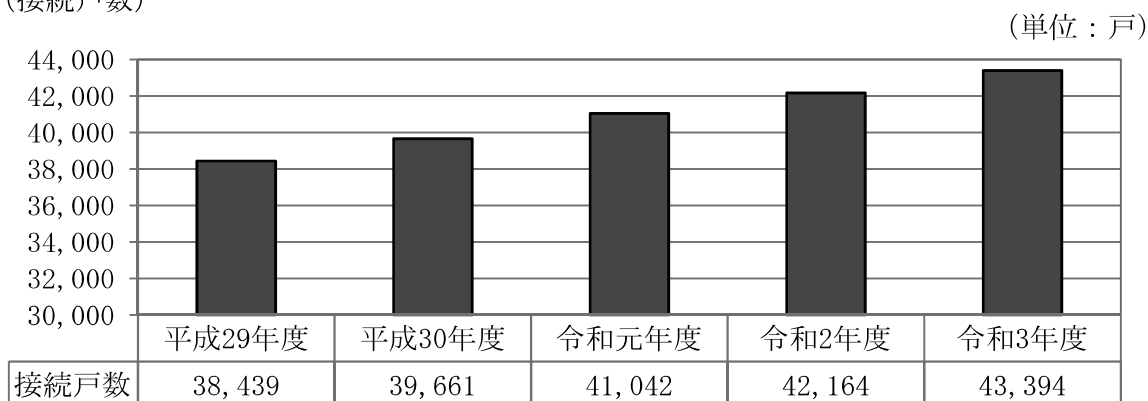
	公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業	農業集落排水事業	漁業集落排水事業	合計
令和3年度	795,285,189	△ 53,560,128	31,883,838	△ 2,548,668	771,060,231
令和2年度	652,521,160	△ 48,645,100	△ 2,487,754	△ 4,823,500	596,564,806
比較増減	142,764,029	△ 4,915,028	34,371,592	2,274,832	174,495,425

(税抜き)

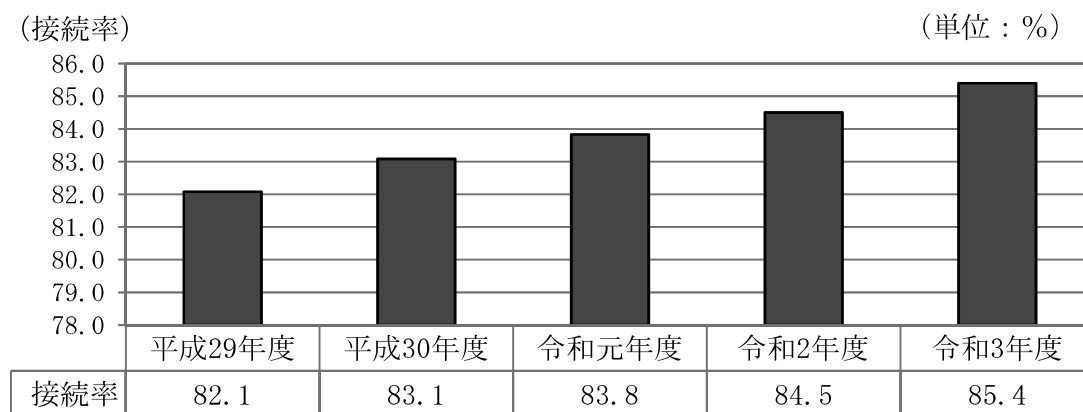
## 7 むすび

諫早市下水道事業における、接続戸数、接続率及び年間有収水量の推移は、次のとおりである。

(接続戸数)



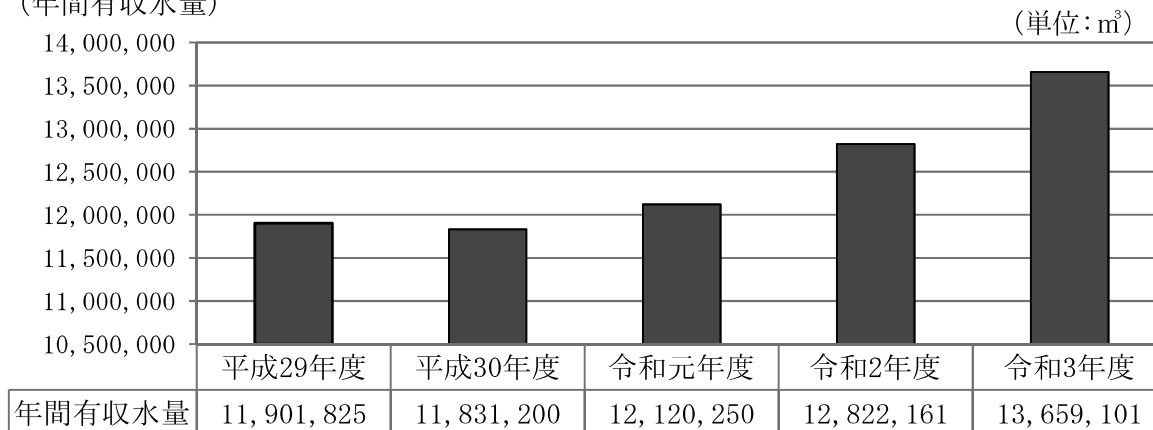
(接続率)



当年度の接続戸数は、前年度に比べ 1,230 戸増加し、接続率は 0.9 ポイント上昇している。

人口減少や節水機器の普及などにより、1 戸当たりの使用水量が大幅に増えることは難しいので、引き続き供用開始区域内の更なる接続を推進し、下水道使用料の増収を図っていく必要がある。

(年間有収水量)



接続戸数と接続率の増加に伴い、当年度の年間有収水量は前年度に比べ 836,940 m<sup>3</sup>増加している。

下水道事業の業務実績の年度別推移では、供用開始区域内における下水道への接続戸数及び接続率は年々上昇傾向にあり、これに伴い有収水量も増加しているが、人口減少などにより使用料収入の大幅な増加は見込めず、また、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や多額の企業債償還（令和3年度末企業債残高 29,470,014,704 円）が続くなど、下水道事業経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

なお、「諫早市下水道経営戦略プラン」における令和3年度時点の財政計画や各指標の計画値は、おおむね達成していると判断できる。これまでも普及率や接続率の向上に努めてきているが、引き続き未接続者や大規模事業者に対する個別訪問などにより、更なる接続促進を図りたい。また、地方公営企業の独立採算制の原則に鑑み、使用料収入を確保することにより、今後も一般会計からの基準外繰入金や企業債残高の縮減に努められたい。

また、管路や処理場等の施設の老朽化に伴う更新等については、「諫早市公共下水道ストックマネジメント実施方針」に基づき行われているが、引き続き長期的展望に立った計画的かつ効率的な整備を実施することにより、施設の長寿命化と管理の最適化に努められたい。

各下水道事業（報告セグメント）の経営成績を見てみると、公共下水道事業、農業集落排水事業の経常損益は黒字であるが、特定環境保全公共下水道事業、漁業集落排水事業では赤字となっている。生活環境の改善と三つの海や河川などの公共用水域の水質保全を図るため、各事業の推進は必要であるが、今後、農業集落排水の公共下水道及び特定環境保全公共下水道への接続、隣接する処理場の統廃合による経営の効率化の検討、また、事務の民間委託による経費縮減の取組を検討するなど、着実に経営計画に基づき経営基盤の改善・強化を図り、事業の効率的かつ効果的な推進に努められたい。